

かし和



平成27年5月
 <第14号>
 柏市立柏病院
 [住所] 柏市布施1-3
 [電話] 04-7134-2000

不整脈センター

昨年の糖尿病センターに続いて、4月に不整脈センターを開設しました。心不全や狭心症の治療に加えて、今後は不整脈の治療にも積極的に取り組みます。将来的には、小児科の外来に入院施設を併設した小児センターも開きたいと考えています。ただ、各センターは独立した組織ではありません。その運営には、他の診療科や様々な部署の下支えと連携が必須です。今後も、センターを含め病院全体の医療レベルの向上に努めてまいります。



病院長 野坂 俊壽

新任医師紹介

【平成27年度】

今年度より新しく着任した常勤の医師をご紹介します。それぞれの医師に、①出身地 ②出身大学 ③趣味 ④子供の頃の夢 ⑤当院へ初めて勤務されたときの印象 ⑥診療に心がけていること・大切に思っていること を聞いてみました。

飯田 啓太 (はんだ けいた)

no-image

【循環器内科】①神奈川県②鹿児島大学
 ③卓球④エンジニア⑤歴史ある病院⑥
 なるべく平易な言葉で話をします。

細川 博昭 (ほそかわ ひろあき)

no-image

【整形外科】①青森県②福島県立医科大学
 ③サッカー④サッカー選手⑤スタッ
 フの皆さんが明るく元気⑥患者さん一
 人一人の背景を考えながら最善の治療
 を提供したいと思っています。

福田 啓太 (ふくだ けいた)

no-image

【研修医】①東京都②浜松医科大学③スポ
 ーツ (テニス・野球等) ④プロ野球選手⑤
 先生方やスタッフの方々など親切な方が
 多い印象です⑥まだ分からないことだら
 けですが、1つ1つ吸収して成長していけ
 るよう精一杯頑張りたいと思います。

沼田 真理子 (ぬまた まりこ)

【消化器内科】①東京都②札幌医科大学③読書、雑貨
 の買い物、ドライブ④動物をたくさん飼うこと⑤スタ
 ッフの方々が皆さん優しく働きやすい⑥患者さん
 の立場に立って寄りそっていただけるような医療。

大野 智里 (おおの ちさと)

【消化器内科】①埼玉県②帝京大学③旅④獣医さん
 ⑤和やかな雰囲気⑥患者さんにとって最善の治療
 を選び、正確に理解できるように説明すること。

志水 太郎 (しみず たろう)

no-image

【消化器内科】①東京都②東京医科歯科
 大学③ドライブ④メカニック⑤アット
 ホームな病院⑥患者さんに寄りそった
 医療を提供すること。

川村 早弥華 (かわむら さやか)

【研修医】①神奈川県②東京医科歯科大学③旅行④幼
 稚園の先生⑤穏やかであたたかい⑥患者さんにとっ
 て一番身近な存在となれるよう、話しやすい雰囲気
 を作ります。

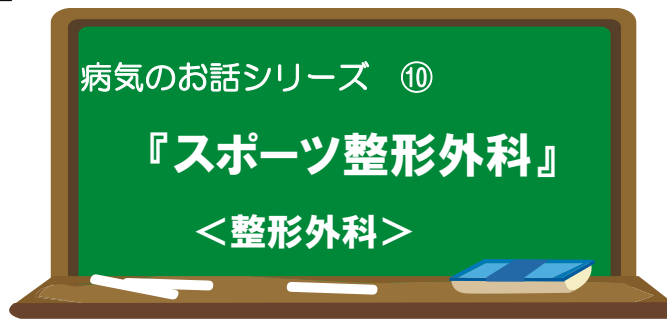


不 整 脈 セ ン タ ー を開設しました。

・不整脈が気になる

・専門医に聞いてみたい

不整脈専門医師 (当院常勤医師、東京医科歯科大学所属医師、筑波大学所属医師) が外来を担当します。
 ご希望の方は、主治医までご相談ください。



ご協力いただいた先生方をご紹介します。



左から 細川博昭先生、池田修先生、森永達夫先生、南徳彦先生、池川直志先生です。

Q. スポーツ整形外科とは？

スポーツしている方に発生したスポーツ外傷やスポーツ障害を診る分野です。捻挫や靭帯損傷、疲労骨折、腱炎など多岐にわたります。

☆スポーツ外傷：1度の動作による運動器の外傷（打撲、肉離れ、骨折、靭帯損傷など）

☆スポーツ障害：繰り返し動作により起こる身体の障害

（疲労骨折やシンスプリント[脛骨過労性炎]、テニス肘など）

Q. どんな方が対象ですか？

“スポーツ”という、どうしても若い方だけのイメージになりますが、スポーツに関わった傷害であればどんな年代の方でも（御年輩の方でも）対象となります。

スポーツ整形外科では、その選手にとって競技復帰させるには何が必要かを、医師とともに理学療法士や作業療法士が一緒になって考え、治療にあたります。

また、スポーツ整形外科の考えは、“選手＝患者さん”“競技復帰＝日常生活に戻る”と置き換えれば、スポーツをしていない一般の人にも通じる考え方です。

基本的な考え方は、正しい診断の下、投薬・注射などを用いて“痛みを少なくした状態”を早く作り、

リハビリテーションで“痛みを出さない体作り”に取り組む事です。但し、“手入れ”（リハビ

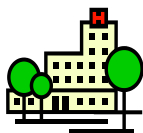
リやセルフケア）をしなければ、いくら薬を飲んだり注射をしたりしても、その効果がなくなればまた痛くなるなど再発のリスクは減らせません。

～スポーツ傷害での基本的な初期治療PRICE療法～

- **P**：Protect（保護：再受傷を防ぐ）
怪我をした方の安全を保つため、必要があれば受傷場所から移動します。
- **R**：Rest（安静：腫脹や炎症の助長を防ぐ）
患部の安静を保つために競技を中止し、患部を動かさないようにするために添え木を当てたり、テーピングをしたりします。
- **I**：Ice（氷冷：疼痛の緩和、浮腫の軽減）
患部を冷却することで、血管が収縮して内出血や腫れが抑えられ、さらに痛みが緩和します。また、患部の代謝を低下させることによって炎症が抑制できます。例えば、氷を少量の水と一緒にビニール袋に入れて空気を抜いてから直接患部に当てます。目安は 15～20 分ですが、凍傷には要注意です（保冷剤は凍傷のリスクがあり、お勧めしません！）。
- **C**：Compression（圧迫：出血を抑える）
患部が出血により腫れると、腫れが引くのにも時間を要します。
いかに素早く患部を圧迫して“腫らせない”かが、早期復帰への一番のポイントです。例えば筋の打撲を生じた場合、アイシング（氷冷）をまず行うのではなく、まず圧迫を強く行うことが大切で、特に受傷後1時間以内に行うことが予後にも影響するとされています。
- **E**：Elevation（拳上：浮腫の軽減）
患部を心臓より高い位置に保つことで、内出血や浮腫による腫れを防ぎます。



当院の取り組み



医療安全部会

*医療安全部会とは

医療安全部会は、医療事故の予防・再発防止対策並びに発生時の適切な対応など、当院における医療安全体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供ができるよう活動しており、患者さん、職員の安全を守るために様々な活動をしています。

*医療安全部会の活動内容

●報告されたインシデント・アクシデントレポートの情報収集・分析・対策

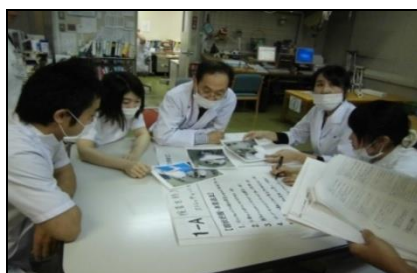
医療事故の発生予防及び再発防止のために、ヒヤリ・ハッとした出来事や何らかの障害を引き起こした事故の情報を収集・分析し、安全確保のための対策を立案して再発防止につなげている。

●医療安全に関する院内研修

医療安全の基本的な考え方、事故防止の具体的な手法などを職員全体に周知徹底することを通じて職員個々の医療安全意識の向上を図ることを目的とし、全職員を対象とした医療安全管理の為の研修を定期的実施しています。



職員間コミュニケーション



KYT（危険予知トレーニング）

その他にも医薬品や医療機器などの研修を定期的に行っています。

●チーム活動

医療安全部会の委員を5つのチームに編成し、チーム活動をとおして職員の危機管理意識の向上を図っています。

平成26年度チーム活動内容

- ・内服チーム・・・内服薬自己管理への導入 ～評価スコア等の作成とマニュアルの見直し～
- ・誤嚥・窒息チーム・・・誤嚥・窒息リスクに対する意識調査
- ・転倒・転落チーム・・・転倒転落に対する意識調査とリスクへの標語作成
- ・療養環境チーム・・・療養環境の改善
～整理整頓の重点ポイントとして、落下物による危険防止対策～
- ・患者確認チーム・・・患者確認に関するインシデントの調査内容から ～分析・再発防止策の提案～

*患者さん、ご家族の皆さんへのお願い

★医療事故を防ぐためにお名前をフルネームで確認させていただいています。

私たち職員は最善の注意を払って医療安全に努めておりますが、そのためには皆様のご協力が必要です。安心して医療をうけられるよう検査や注射を行うたびにお名前をフルネームで確認させていただきます。また、場合によっては生年月日を確認させていただくこともございます。わずらわしく思うこともあるかもしれませんが、安全のためにご協力をお願いいたします。



かし和食卓日記 ③



前回に続き、地産地消のメニューをお届けいたします。今回は、「ほうれん草のナムル」です。ほうれん草は、全国で栽培され、様々な品種が地域を変えながら収穫され、通年市場に流通しています。本来の旬は、11月から1月の冬です。この時期は色も濃く、栄養分も増して甘味があります。品種は、東洋種（葉の切れ込みが深く尖った形をしていて、アクが少ない）・西洋種（葉は切れ込みがなく丸みを帯びていて、少し厚みがあり、アクが強い）があり、流通しているもののほとんどは、交雑種で、両方の良いところを残しています。生産量は、千葉県が1位、埼玉県が2位となっています。

◇ ほうれん草のナムル (1人前)

エネルギー：57kcal タンパク質：3.1g
脂質：3.4g 塩分：0.5g



<材料> もやし 40g ほうれん草 10g かにかまフレーク 15g
いりごま 1g にんにく 1g しょうゆドレッシング 8g
<作り方> ①もやしとほうれん草を茹でて、冷水にとり、しっかりと水気を絞ります。
②かにかま、すりおろしにんにく、いりごま、ドレッシングを入れて和えます。

かにかまフレークを人参に変えたり、きゅうりやちんげん菜を入れたり、お酢を入れても美味しくいただけます。

〈広報委員の試食感想〉もやしを蒸すとシャキシャキ感が充分に感じられます。味付けも良く、塩分制限のある方へもおススメです。

◇ 主に千葉県産のほうれん草を使っています。(写真右)

ほうれん草の原産地はペルシャ地方とされ、ヨーロッパやアメリカなど世界各地で食用とされている野菜です。日本には、江戸時代初期に伝わったとされています。和食では、おひたし、胡麻和え、白和え、鍋物にしたり、洋食では、ソテー、オムレツの具、キッシュ、裏ごししたものを使ったポタージュなどに使われます。



ボランティア活動日誌

患者を支える会 ~お花見~

3月31日、一挙に満開となった桜を患者さんと共に満喫しました。当日は春の嵐が吹きはしたものの初夏のような陽気。参加された方の中には、病院の敷地にこんなきれいな処があることに感動され、とても幸せな気分を味わったといわれる方や、久しぶりの外出に心うきうき、桜を愛でながらお祭り気分でお祭りを歌う方もいたり…。桜のトンネルを過ぎると真黄色のレンギョウ、花壇にはムスカリやチューリップ、またペアを組んだボランティアとの間には話の花も多いに咲き、桜の香をいっぱい吸い込んで1時間余りのお花見を終えました。来年はより多くの患者さんにご参加して頂けるよう工夫していきたいと思えます。



お知らせ

人間ドックが変わりました!

今年度から人間ドックの検査内容が拡充され、オプション検査では新たに6種類の検査が選べるようになりました。

☆New☆

腫瘍マーカー(消化器セット)
腫瘍マーカー(女性セット)
甲状腺機能
ピロリ菌検査
動脈硬化検査
内臓脂肪

検査内容の詳細・料金等をまとめたパンフレットを【総合受付】(1階)と【健診センター】(2階)でお渡しますので、お声かけください。



編集後記

広報委員会では病院ホームページに掲載されているメディカルトピックスも作成しています。毎月更新していますので、広報誌同様多くの方に読んで頂けると幸いです。

広報委員 牧野 文香 (検査科)